

特定非営利活動法人

フードコミュニティ目黒 広報誌

米創庵
KOME SOU ANN

2015年8月
第14号

発行日 平成27年8月28日
発行所 特定非営利活動法人
フードコミュニティ目黒
理事長 渥美 昭美
〒152-0001
東京都目黒区中央町2-32-5
スマイルプラザ中央町
TEL : 03-5768-0707
FAX : 03-5768-0717
E-mail : okowa@fc-meguro.com
<http://www.fc-meguro.jp/>

企業、関係機関のますますの連携・協力を強めよう

東京学芸大学名誉教授 松矢 勝宏

障害者雇用促進法と障害者総合支援法にもとづく施策は、両法のシステムの密接な連携策によって、かなりの成果を上げてきています。厚生労働省の資料によると、就労系障害福祉サービスから一般就労への移行は、平成15年度の1288人を1とすると、平成24年度では6倍の7717人となっています。この数字は24年度の特別支援学校卒業生中の就職者数5387人をはるかに超えています。学校卒業の時点で、あるいは就職して定着に失敗した時点で就労系障害福祉サービスを選択した人が就職をよりよく実現していることを意味します。企業や関係機関の連携強化で職業参加が実現しやすい時代を迎えているといえます。

さて東京都においては知的障害特別支援学校高等部卒業生の就職率が40%を超え、毎年順調に漸増しています。今年3月卒業生については44.1%と聞いています。就職者の増加に対応して、移行支援事業所を新規に利用する卒業生の障害の重度化傾向を指摘する声が聞かれます。精査する必要がありますが、大切なことは、卒業後にさらに働く力を育てるために学校と福祉事業所の情報の共有化と支援の継続性がますます必要になっていることであり、この点については強調してもしすぎることはありません。

フードコミュニティ目黒の移行支援事業にも大いに期待をしています。

状況報告

特定非営利活動法人 フードコミュニティ目黒 理事長 渥美 昭美

フードコミュニティ目黒(FC目黒)は今年度4月より就労移行の方が特別支援学校などから3名入り計6名になっています。就労移行の方々は目標に向けて2名の方が企業実習に行き始めています。また、ハローワークを通じて2カ月間のパソコン訓練に行き始めた方もいます。就労移行の方々が切磋琢磨して企業就労に向けて伸びて行ってほしいと思っています。

就労継続支援B型の方々は今年度の目標工賃34,000円に向けて利用者、職員全体が力を合わせて頑張っているところです。

今年度も特別支援学校の生徒さんの就労継続支援B型の適否を見極めていくアセスメントシートを取る実習を受けています。また、離職した方の実習も受けています。

そして、職員は内部研修と外部研修を行っていますが、内部研修の前期が終わったところです。

これからも利用者一人ひとりの能力を的確に捉え必要な支援をしていきたいと思っております。

協力し合い刺激し合って楽しい施設に！

フードコミュニティ目黒 施設長 吉塚 晋

○多機能事業所の良さを生かして

4月に就労移行の利用者が新たに3名、7月～8月に2名が入所し、就労継続B型と合わせてFC目黒の利用者は現在18名となりました。就労移行支援事業は8:00又は8:30～16:30、就労継続B型は9:00～16:00と作業時間が異なり、朝礼・終礼も別々に行っています。就労移行の利用者は2～3年後の就労を見すえ、企業実習や面談会などの参加も行っています。

作業についてはB型の利用者と一緒に行くこともあり、互いに助け合って取り組む良さがあります。長くFC目黒に通所している就労継続B型の利用者がFC目黒の生活面のルールや仕事内容を教え、わからない事などしっかり聞いてあげ、完成度の高い仕事ができるようになってきています。厨房清掃でも、B型の人が掃除の仕方や片付け、食洗機の使い方、その他道具の置き場所などを移行の利用者に親切に教え、協力し合って取り組んでいる姿が見られるようになりました。このことはB型の利用者にとっても、やる気や意欲につながりとてもいいようです。

就労移行支援事業と就労継続支援B型事業の多機能事業所として、それぞれの利用者が良い影響を受けながら、互いに切磋琢磨していければと思います。

○みんなで考えて今年の目標決定

新年度になり、新しい利用者も入りようやく慣れてきた7月に、FC目黒の理念や基本方針を説明した上で、利用者全員で自分たちで守りたい目標を考えてもらいました。皆さんの意識が高く、それぞれ自分らしい目標を発表してくれました。皆さんの言葉をうまくつなぎ合わせ、4つの目標にまとめました。

『決まりや時間を守って、集中して、助け合い協力して作業をする』

『休まず、清潔に気をつけて、礼儀正しくする』

『なかよく、楽しく、元気に過ごす』

『報告・連絡・相談をしっかりする』

それぞれの作業室に掲示した目標を毎日みんなで読み合うことで、自覚を高め主体的に活動して欲しいと思っています。

○実習生の受け入れ

昨年度より、目黒区の要請で共通様式のアセスメントシートを使い、就労継続支援B型見極めのためのアセスメントをとっています。今年は、アセスメントをとる実習生は4名、その他の実習希望者が3名の予定です。実習期間中は、実習生はもちろん利用者にとっても緊張の毎日です。実習生に作業の仕方を教えることで、利用者のモチベーションが上がります。また、実習生の手本になるために、自分がしっかり仕事をしているか日頃の自分を振り返る機会ともなるようで、利用者と実習生双方にとって良い効果が表れています。実習最終日には「皆さん、色々教えてくださいありがとうございました」の実習生の挨拶に嬉しそうな利用者たちです。利用者たちもこれを受け「一緒に仕事できて良かったです」「4月からまた来てくれるのを楽しみにしています」など心のこもった暖かい言葉を返しています。

今年も、利用者同士がさらに協力し合い、刺激し合って楽しい施設になることを願っています。

賛助会員募集

★会費は、団体:年額10,000円

個人:年額 3,000円

★ぜひ、ご協力のほどお願いいたします。

振込先

郵便振替口座00140-9-706649

特定非営利活動法人フードコミュニティ目黒

◎今年度未納入・未加入の方、お願いいたします。



就労移行支援事業の様子

就労移行支援事業では4月に3名、8月に1名の利用者を加え、定員いっぱいの計6名の利用者で企業就労に向けて新しく計画を立て直し、様々な活動を開始しています。

4月～7月の取り組み

4月～7月までの三カ月間は、「弁当配達」「厨房清掃」「昼食の盛り付け、配膳」「作業室での受注作業」などをローテーションで行うことによって、基本的な作業スキルを修得するとともに、それぞれの利用者の能力と適性を見極める期間として位置づけてきました。また、毎日1時間程度を学習の時間とし、各利用者の課題に応じてパソコン入力、タイピング練習、計算ドリル、お金の計算、ビジネスマナー教本の読み合わせ、面接練習などを行い就労に向けての実践的なスキルを学びました。

8月からは各利用者の希望や適正に応じて、それぞれの目標や課題に沿った活動を進めていくことにしています。

職場体験実習面談会に参加

4月と7月に開催された東京しごと財団主催の「職場体験実習合同面談会」には移行支援利用者全員が参加しました。今後の就職活動に向けて、企業面接の練習の場として位置づける人、希望する職種の就労実現に向けてすぐにでも実習に望む意欲のある人など参加動機はそれぞれです。面談会に向けて、模擬面接での練習や、プロフィールカードを通して自分を企業にアピールすることを毎日の学習の時間を活用して取り組みました。

その成果もあり、当日はみなさん自信を持った表情で面接に臨み、「良い経験が出来た」「緊張したけど言いたいことが言えた」「早く実習に行きたい」などの前向きな感想がたくさん出てきました。

企業実習へ

7月に入り、以前よりFC目黒の活動にご理解とご協力をいただき、障害者の就労に対して積極的な取り組みを進めておられる「合同会社テックサービス」にて、利用者1名が企業実習を開始しています。実際の企業の現場を体験することは、FC目黒での活動の成果を試せる場だけでなく、社会人として求められるルールやマナーを学ぶことの出来る貴重な場になっています。

また、8月後半からは、もう1名の利用者が先の職場体験実習面談会で面談した飲食関係への実習が決まっています。

今後も企業実習、見学に参加できる機会を積極的に活用し、FC目黒での活動にとどまらず、就労現場の空気を肌で感じることによって、就労に対する具体的なイメージを掴み、モチベーションを高めていく取り組みを進めていきたいと考えています。



テックサービスで
FC目黒の先輩と実習

パソコン教室への参加

事務職への就労を希望しているKさんは、FC目黒でもパソコンの練習やメニュー表の作成練習をしています。8月から、二カ月間のハローワークを窓口とするパソコン操作の基礎を学ぶ職業訓練教室の受講が決定しました。午前中はFC目黒で活動し、午後は教室に通っています。しっかりとパソコンスキルを身に付けることによって、今後の就労を目指す活動に自信を持って取り組むことができるようになることを期待しています。

清掃研修

7月には、直接FC目黒に招き、株式会社SCS様より清掃の基本をご指導いただきました。

ほうきやちりとりを持ち方からモップの掛け方などを、利用者全員に手取り足取り丁寧にわかりやすく教えていただきました。作業スキルだけでなく「清掃は楽しくやるのが大切」という言葉に利用者も納得。様々な清掃道具もご提供くださり、さっそく日々の訓練に活用し役立てています。

今後も定期的にご指導を受ける機会を持ち、就労に向けての清掃訓練を毎日の活動に取り入れていきます。



清掃研修のようす

利用者の声

★「職場体験実習合同面談会」に参加し、希望する飲食業界のY社との面接に臨んだOさん
『事前の練習のおかげで、当日も緊張せずに面接に臨むことが出来た！

以前は自分をアピールすることはすごく苦手だったけど、FC目黒の活動を通して自分にも出来ることはたくさんあるとわかって自信を持つことが出来るようになった。今回の面接も手応えバッチリでした。きっと合格するよ！実習に早く行きたいな（笑顔）』と、大きな手応えを感じる事が出来たようでした。間もなく実習スタートです。

★同じく面談会に参加し、希望する事務職のB社の面接に臨んだKさん

『緊張したけど頑張りました。前回より言いたいことがたくさん言えました。』相手の顔をしっかり見て話すことを課題に今回の面接に臨みました。普段は物静かな印象ですが、面接の場ではしっかりと自分をアピールすることが出来たようでした。

★現在「合同会社テックサービス」で実習中のTさん

実習初日の前日は『怖いです。行きたくありません。どうしよう。』と初めての实習に対する不安の胸の内を訴えていましたが、無事に初日を終わると、『楽しかったです！全然緊張しなかった』と満面の笑みで報告に来てくれました。

米創庵
KOME SOU ANN

＊イベント・サークル・会議等のお集まりに、ご予算に応じてお作り致しますので、お気軽にご相談くださいませ。

■ご注文・お問い合わせ
電話03-5768-0707
(9:00~17:00/土日祝休み)

安心・安全の厳選素材が自慢です！



宮城県産の環境保全米(減農薬)「ひとめぼれ」100%を使用。主菜は、肉または魚をメインに、和洋折衷バラエティ豊かです。

白米弁当/515円

赤飯弁当&山菜おこわ弁当/各620円
(宮城県産こがね餅米100%使用)



赤飯(220g)
410円



山菜おこわ(220g)
410円



お萩(5個入り)
410円

米創庵では総菜を含め、すべて手作りしています。